

## 陸上競技研究紀要 第7巻

### 編集後記

3月11日の大震災で被災された方、原発事故など震災後に生じた新たな被害を受けられた方に、編集委員会を代表して心からお見舞い申し上げます。

予定よりもかなり遅れてしまいましたが、平成22年度(2010年度)「陸上競技研究紀要」第7巻をお届けします。第1部の陸上競技に関する研究論文編については、今年は震災の影響かは不明ですが(宮城県からの投稿があったのですが、何らかの理由で掲載辞退となりました)、掲載は2編という寂しいものとなりました。また、第2部の科学委員会報告については、8編で例年よりも少なかったのですが、標準動作作成および提示という新しい試みがありました。科学委員会では、これまで競技会におけるバイオメカニクスの調査により質の高いデータを蓄積してきましたので、それを活用して何らかの日本陸連版の基準を提示しようという試みです。陸上競技の普及や競技力向上に資するような標準値の確立は、以前には元専務理事の佐々木秀幸先生から、最近では前専務理事の澤木啓祐先生からも強く要望されていたものです。今後は、動きの標準値だけでなく、体力等の標準値も提示できれば、さらに普及、競技力向上につながると考えている次第です。

8月27日から韓国のテグ(Daegu)で第13回世界陸上競技選手権が始まります。我が国の代表選手の健闘を、さらにそれがロンドンオリンピック大会につながることを心からお祈りします。

平成23年7月31日

文責 阿江通良

陸上競技研究紀要第7巻 編集委員会  
阿江通良(編集委員長)、松尾彰文、杉田正明、渡部 誠、佐伯徹郎  
(日本陸上競技連盟・事務局) 風間 明、森 泰夫、佐藤峻一

「陸上競技研究紀要」第7巻

---

2011年10月1日発行

発行人 尾縣 貢

発行所 公益財団法人日本陸上競技連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

TEL : 03-3481-2300

---